

地域の皆様から寄せられたご意見・ご要望について

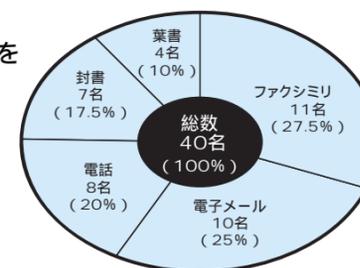
加古川バイパスリニューアル計画(案)につきましては、「加古川バイパスリニューアル検討協議会」(建設省・兵庫県・兵庫県警・加古川市)で作成いたしました素案の概要を、前号(VOL.4)までですべてご紹介いたしました。

今回は、平成11年9月末日までに、皆様から寄せられましたご意見・ご要望と、それらに対する回答をお知らせいたします。加古川バイパスリニューアルニュース(VOL.1)でもお知らせしましたとおり、加古川バイパスリニューアルは地域の皆様や道路利用者にも参加していただき、ご意見をきながら事業を進めていくことにしています。沿道住民の代表者や道路利用者の代表者及び学識経験者等で構成された「加古川バイパスリニューアル懇話会」では、リニューアル計画素案につきまして、現在まで4回にわたり議論を重ねてまいりました。また、皆様から寄せられましたご意見・ご要望もご紹介し、貴重なアドバイスもいただいております。

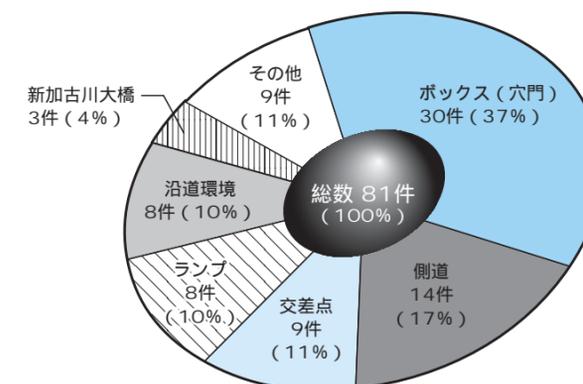
今回のリニューアルニュース(VOL.5)では、皆様からのご意見・ご要望とそれらに対する回答としまして、現段階における考え方をお知らせいたします。

加古川バイパスリニューアル計画(案)に対しまして、平成11年9月末日までに40名(団体も含む)の方々から、ファクシミリ、電子メール、封書など、様々な方法でご意見・ご要望をいただきました。

皆様からいただいたご意見・ご要望の内容を分類すると81件にもなりました。



加古川バイパスリニューアル計画(案)に対する意見・要望の項目別件数



リニューアル計画(案)へのご意見・ご要望と対応

ランプ改良関係(8件) 加速車線が短く危険。また、渋滞が多いので対策を考えてほしい。

<主な意見・要望>

- 加速車線が短くて危険なので改良してほしい。(1件)
- 渋滞の多い箇所については、既存のランプを残したまま新たにOFFランプを設置してほしい。(2件)
- ・OFFランプの箇所を2倍にしてはどうか。(1件)
- ・OFFランプを2車線にしてほしい。等(3件)
- 加古川西詰めONランプ(上り線)を廃止してもらっては困る。(1件)

回答

加速車線および減速車線の長さが短い箇所については、ランプ改良を実施していく予定です(図-1)。新たなOFFランプの設置については、現在のOFFランプの間隔が平均で約3kmと短く、これ以上ランプの間隔を縮めると、ONランプから入る交通と新たなOFFランプから出る交通が本線上で輻輳し危険です。また、新たなOFFランプから下りた交通を接続できるような南北方向の幹線道路がないため、生活道路へ進入する車が増え、周辺の交通環境が悪化するおそれがあります。OFFランプの2車線化については、用地の余裕があるランプについては2車線にしたいと計画していますが、すべてのランプを2車線にするためには、周辺市街地の用地買収が必要になることから難しいと考えています。また、ランプと側道の合流部付近については、渋滞対策として図-2のように、交差点改良等とあわせてスムーズに合流できるような対策も考えています。既存のランプの廃止は考えていません。

図-1

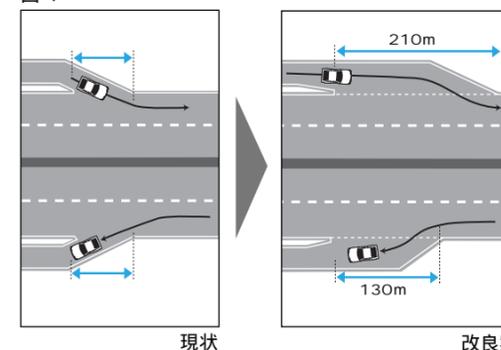
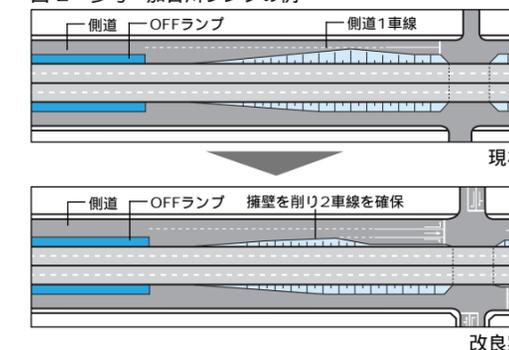


図-2<参考>加古川ランプの例



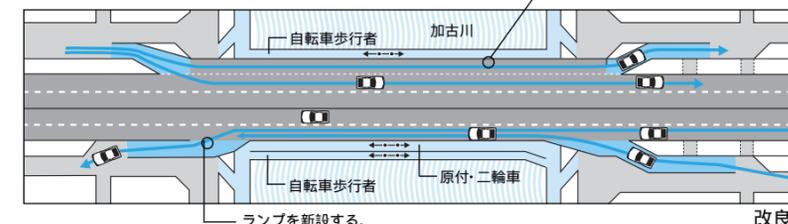
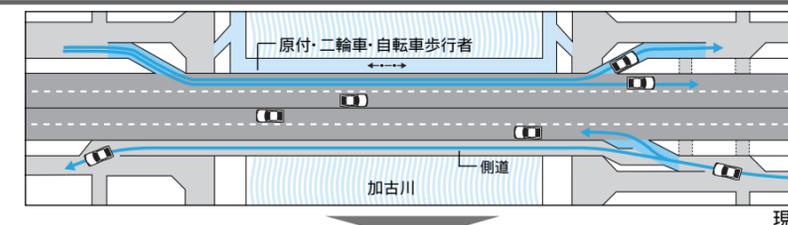
新加古川大橋の改良について(3件) 本線と側道を分離してほしい。

<主な意見・要望>

- 側道橋を渡った自転車・歩行者が川沿いの道路へ下りる時、下り坂で見通しが悪く危険であるので、側道橋を川沿いの道路を越えるまで延長してほしい。(1件)
- 下り線の改良案では、加古川を渡るだけの車も必ず本線に合流する必要があるため、上り線・下り線とも側道と本線を分離してほしい。その上で、下り線本線からのOFFランプを設置してほしい。(1件)
- 加古川の左岸・右岸道路からバイパスへスムーズな進入ができるループ形式のインターチェンジのようなものを考えてほしい。(1件)

回答

特に自転車が、側道から下りてきた勢いで車道に飛び出さないよう、傾斜の緩い下り道にする等の安全対策を考えていきます。なお、側道橋を川沿いの道路を越えるまで延長することは、追加用地が必要となり、沿道の市街地への影響が大きいため、難しいと考えています。新加古川大橋付近における渋滞の緩和や交通の安全性向上のため、橋の拡幅による改良を検討しています。現段階では、橋梁技術面からみて既存の橋の拡幅は上り下り合わせて本線5車線が限度です。6車線化の技術的な可能性についても引き続き検討していきたいと考えております。なお、本線への出入りが安全にできるように、十分な加速、減速の車線の長さを確保する予定です。加古川の両側には、バイパスと側道を接続する現在のランプが必要ですが、ループ形式のインターチェンジとするには、現ランプを撤去しなければなりません。また、広範囲な用地が必要となり、沿道の市街地への影響が多いため、難しいと考えています。



付加車線の設置により、側道交通と本線交通の織り込みをなくす。

ランプを新設する。改良案

側道関係（14件） OFFランプと側道の合流が短い区間で行われるため危険。

<主な意見・要望>

- OFFランプからの車両との合流が短い区間で行われるため危険である。
- 側道とランプの信号を別々にしてほしい。(2件)
- 2車線にすれば渋滞も緩和されるのでは。(6件)
- JR加古川線をまたぐ側道について、本線に上がるランプと勘違いし、特に大型車が立ち往生して困っている。
- JR加古川駅の橋上化に伴い、JR加古川線をバイパスの北側まで高架にできないか。(2件)
- 穴門（横断ボックス）付近について側道の路面表示等の交通規制を考えてほしい。(2件)
- 歩道と車道に段差があったり、歩道の幅が狭いため、自転車・歩行者が車道を通行するので危険である。(2件)

回答

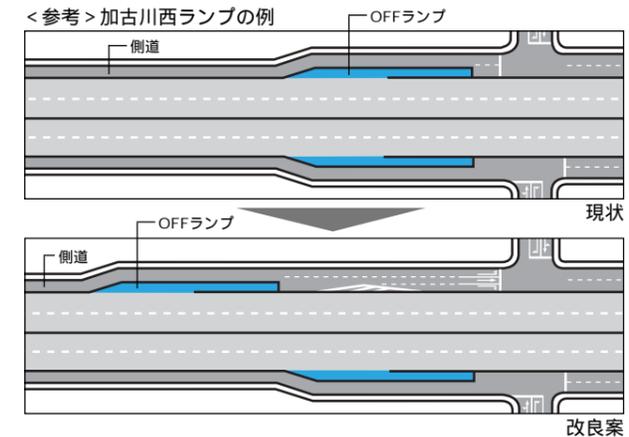
ランプ改良や交差点改良と併せて、合流区間の車線数を増やす（ランプ改良関係の項 図-2参照）などランプと側道との合流がしやすくなるような改良を考えています。

また、OFFランプと側道の合流部から交差点までが短い箇所では、合流に必要な長さを十分確保するよう検討しています。そのため、ランプの移設が可能な箇所については、ランプの位置を交差点から離れる方向に移動することも併せて考えています。

わかりやすい路面表示、標識等を設けるよう検討します。

現在の道路用地幅が限られているため、歩道の拡幅はできませんが、交差点等で歩道が分断している箇所では、歩道と車道の段差をなくすよう、検討します。

また、その他の区間も沿道利用やボックスの内空高さ等に支障のない箇所については、歩道と車道の段差解消を検討していきます。



交差点改良について（9件） 渋滞が多いので対策をしてほしい。

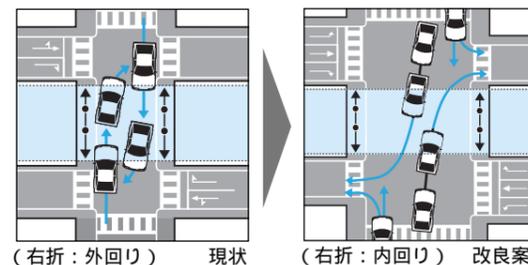
<主な意見・要望>

- 渋滞対策について
- OFFランプからの車両が信号に関係なく、南北の道路を走行できるようにしてほしい。(1件)
- 右折専用レーンがないため渋滞の原因になっている。(3件)
- 右折方法を内回りにする（明姫幹線のように）、その際バイクについての路面表示をしてほしい。(2件)
- 側道に限らず、道路の拡幅工事をしなくても右折レーンや右折専用信号を設置すれば渋滞の緩和される交差点が多くあるのでは。(1件)
- 盛土部の出っ張りを取り除くなどして、交差点の手前から右折、直進、左折レーンを設ければ渋滞が緩和されるのでは。(1件)
- 渋滞の原因は、バイパスのみでなく他にもある。(1件)

回答

主要な交差点については、ランプ改良等と併せて交差点改良を行うことにより、渋滞の緩和、解消を図っていきたく考えています。

- 右折専用レーンの設置を考えています。
- 右折方法を内回りに変更し、合わせて右折信号処理を考えています。
- 盛土部の出っ張りにより、側道が狭くなっているところはこの取り除いて拡幅することを考えています。(ランプ改良関係の項 図-2参照)



沿道環境の改善（8件） バイパスからの騒音がひどいので遮音壁を設置してほしい。

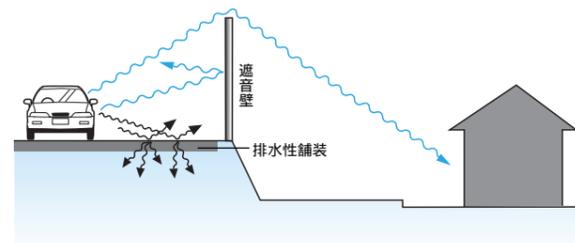
<主な意見・要望>

- 遮音壁がないところについて、遮音壁等を設置してほしい。(7件)
- トラックが通ると路面の段差ですごい音がするので、路面の段差をなくしてほしい。(1件)

回答

騒音の状況を把握し、遮音壁の設置や、低騒音舗装（排水性舗装）等による対策を実施していく予定です。

路面の段差が生じた場合は、早急に補修します。



その他（9件）

<主な意見・要望>

- 集中豪雨の時に本線に水溜まりができて水しぶきにより視界が悪くなる。排水をよくしてほしい。(1件)
- バイパスに乗る前に渋滞の情報が分かるようにしてほしい。(AMラジオ、電話サービス等)(2件)
- 意見募集の状況、それに対する結論、理由等を公表してほしい。またE-mailでの意見募集は、意見を言いやすく有り難い。さらにニュース等をホームページで公開してはどうか(ホームページのみでもいいのでは)(1件)
- 平成10年9月に各新聞に「住民の意見取り入れる」と書いてあったが、説明会等を今後行うのか。(3件)
- リニューアルに伴う用地買収には反対である(土地は提供しない)(1件)
- バイパスの高低差の激しい路面は危険である。高低差をなくす件はどうなっているのか。(1件)

回答

騒音の低減とともに、路面の排水に対しても効果のある低騒音舗装（排水性舗装）を順次実施し、水溜まり等ができないようにしていきます。

日常は路側放送（道路情報ラジオ）と電話案内による情報提供を行っています。特に交通規制を伴う工事については、電話案内による規制状況や渋滞情報の提供並びに規制案内看板の設置等、情報提供を改善しており、今後とも道路利用者には十分な情報提供が行われるよう取り組んでいきたいと考えています。

今後もリニューアルニュース等を通じて公表していきたいと思っています。また、ホームページの掲載は有効な手段であり検討いたします。

計画全体のものについては、基本的にリニューアルニュースを通じての意見交換を考えています。なお、工事の実施にあたっては、個別に関係地域に対する説明会を実施していく予定です。

原則として用地内の計画としていますが、一部、用地のご協力をお願いする箇所もございます。

ボックスの改良等とあわせ、できるだけ改善していきたいと考えています。

横断ボックス改良（30件） 廃止は困る、廃止も結構、歩行者等と車が安全に通行できるよう改良を。

<主な意見・要望>

- 廃止は困る。(5件)
- 廃止も結構。(3件)
- 拡幅等の改良をしてほしい。(8件)
- 具体的な箇所の説明をしてほしい。(4件)
- 市道等の整備も併せて必要ではないか。(3件)
- ボックス(穴門)の交通規制(一時停止、一方通行、自動車通行止)を考えてほしい。(6件)
- 自転車・歩行者の安全を確保してほしい。(1件)

回答

横断ボックスの改良（統廃合、廃止等含む）については、いただいたご意見等を基に各箇所毎に慎重に議論し、また交差道路の改良や地区の開発計画等とも整合をとりながら十分に議論、検討していきたいと思っております。

ボックス改良の基本方針

- 事故が多い箇所を優先的に改良する。
- 自動車の交通量が多い箇所は、自転車・歩行者と自動車交通の分離を図る。
- 自動車・自転車・歩行者の通行量がともに少ない箇所はできる限り、統廃合（近接して2つ以上のボックスがある場合、一方を改良し、他の一方を自動車通行止めあるいは廃止することにより、交通の安全性を高める）を図る。

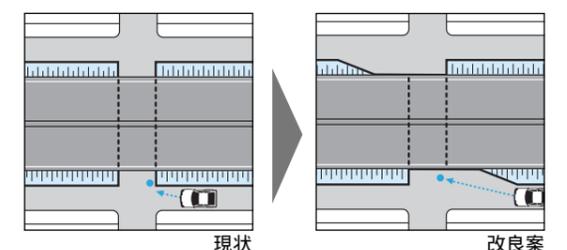
対策案の紹介

対策案	改良の考え方
新設、拡幅等	自動車の交通量が多く、自転車・歩行者と自動車交通の分離が必要なボックスについては、以下のとおりとする。 接続する道路の拡幅計画のある場合は、ボックスを拡幅し両側に歩道を設置する。 接続する道路の拡幅計画のない場合は、人道ボックスを新設する。
通自動車	自動車の交通量が少なく、迂回できるボックスがある場合は自動車を通行止めして、人道ボックスとする。
廃止	自動車・自転車・歩行者がともに少なく、近くに迂回できるボックスがある場合は廃止を考える。

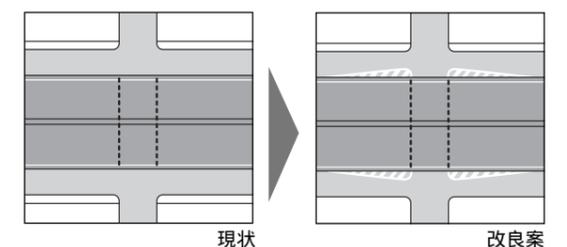
(裏面でご質問・ご意見の箇所ごとの改良の考え方をご紹介します)

事故の発生が少ないボックスについても、出入り口付近の見通しを良くする改善策を考えています。

盛土部を削りボックス出入口付近の視認性を高める。



路面表示によりボックス出入口付近にたまりを設ける。



横断ボックスの箇所毎のご質問・ご意見に対する改良の考え方



No.12 ~ No.17

<質問>
(県道八幡別府線の交差点から県道野口尾上線の交差点)
・具体を知りたい。

回答

No.15
加古川東ランプ(姫路方面)の西400mのボックス(幅2.5m・高さ2.4m)
自動車・歩行者・自転車ともに利用がある程度あるので、現状のまま利用していただこうと考えています。なお、歩行者・自転車等の安全を高める方策として、歩行者・自転車の専用ボックスとすることも考えられます。

No.16
県道野口尾上線の東350mのボックス(幅2.5m・高さ2.4m)
自動車・歩行者・自転車の利用が少ないことや、迂回するボックスや交差点が近くにあることから歩行者・自転車等の安全を考えて廃止したいと考えています。

No.17
県道野口尾上線の東150mのボックス(幅4.0m・高さ4.2m)
自動車・歩行者・自転車ともに利用がある程度あるので、現状のまま利用していただこうと考えています。

No.13, No.14
<質問>
・No.13, No.14(北行き一方通行)で、狭い生活道路(市道北野14号線)に車が進入迷惑。
・No.14を対面通行にしてほしい。

回答

加古川東ランプ(姫路方面)の西300mのボックス。
No.13(幅2.5m・高さ2.4m) No.14(幅4.0m・高さ4.1m)
No.13は利用する車両のほとんどが南行きで、No.14は北行き一方通行で約40mしか離れていません。No.13、No.14を一組のボックスと考えれば、自動車・歩行者・自転車ともに利用が多いことから、改良箇所として追加したいと考えています。
改良案は、No.14を歩道付きの対面通行とし、No.13はNo.14と近接することから、歩行者・自転車等の安全を考えて廃止したいと考えていますので、市道北野14号線への進入車両は減少することが予想されます。新設する歩道付きの北行車道のボックスへ市道北野7号線からの接続性を良くするため、市道北野7号線と側道との交差部の拡幅も必要と考えています。

No.12
<質問>
・廃止は困る。
・対面通行にしてほしい。
・拡幅して歩行者・自転車利用者が安全に通行できるように。

回答

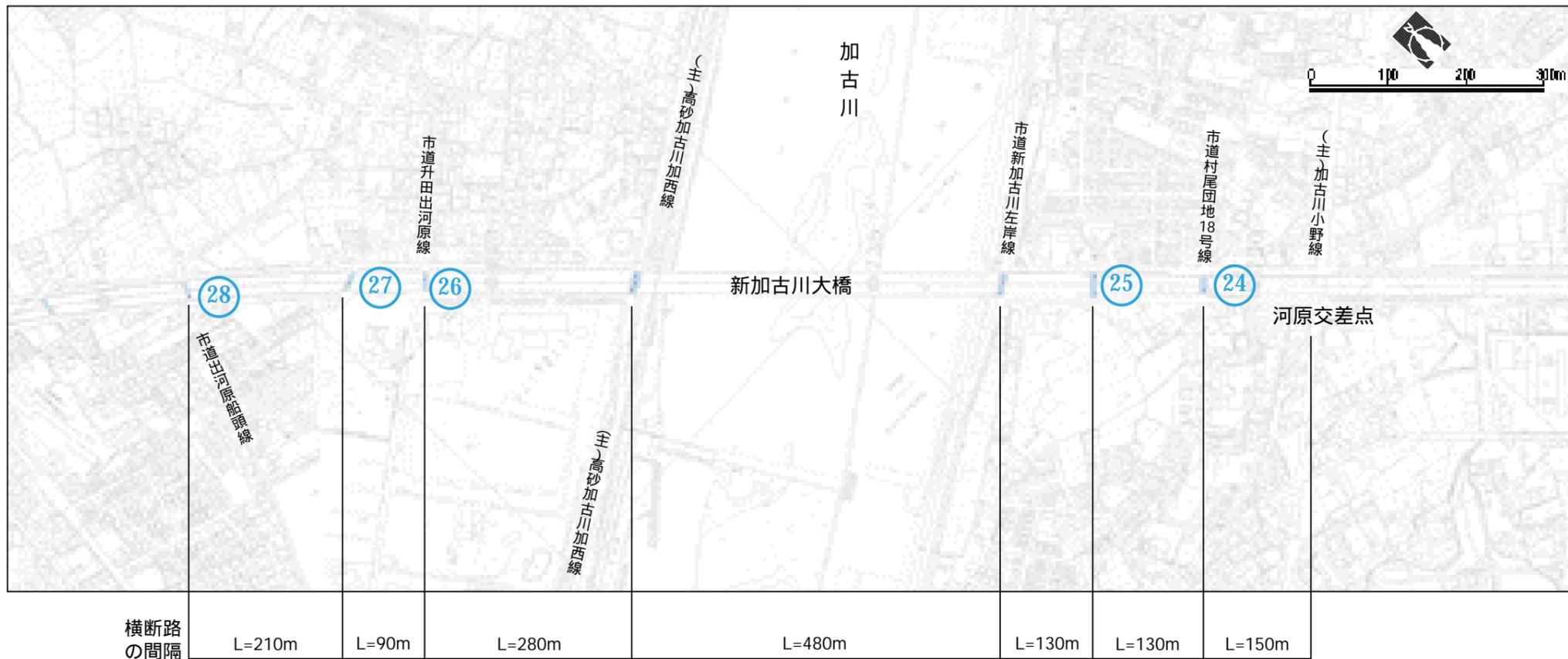
六反田交差点の西約200mのボックス(幅3.0m・高さ2.8m)で北行一方通行です。
事故が多く、自動車・歩行者・自転車ともに利用がある程度あります。対面通行にすると、加古川東ランプ(出口)と近接しており、側道、ランプの渋滞が増大すると予想され、さらに事故の発生も増えることが予想されます。
また、南北の自動車交通の円滑化を図るため近接する六反田交差点を改良したいと考えていますので、No.12のボックスは現在の一方通行として考えています。なお、歩行者・自転車等の安全を高める方策として、歩行者・自転車の専用ボックスとすることも考えられます。

No.10, No.11
<質問>
・具体を知りたい。
・取付市道(新在家野辻線)の整備(拡幅、歩道段差解消)をし

回答

JR東加古川駅の北側の市道新在家野辻線のボックス(2箇所) No.10(幅4.0m・高さ2.1m) No.11(幅6.0m・高さ4.1m)
両ボックスはバイパス北側地区から、JR東加古川駅へ連絡するボックスで、ともに自動車・歩行者・自転車の利用が多く、事故が多発しているため、改良を考えています。

No.11
No.11のボックスは、歩行者・自転車の安全を確保するため、歩車分離が必要です。現在の幅6.0mでは、歩道と車道を分離すれば自動車の対面通行はできません。東側約80mのNo.10のボックスを大きく造り替えることから、南行き自動車はそちらを利用していただき、北行きの一方通行にしたいと考えています。



No.24

<質問>

・北行き一方通行にする。 ・廃止した方がよい。

回答

加古川ランプ(上りOFFランプ)と側道部との分合流部のボックス(幅6.0m・高さ4.5m)

Uターン交通が多く、渋滞の一因となっています。河原交差点の改良に合わせてUターン路を設ける計画としていますが、廃止したいと考えています。

No.25

<質問>

・廃止しないでほしい。
・歩行者と車が安全に通行できるようにしてほしい。

回答

加古川より東へ約150mのボックス(幅6.0m・高さ3.8m)

自動車・歩行者・自転車ともに利用は多くありませんが、自動車と歩行者が分離され事故も少ないことから、現状のまま利用していただこうと考えています。

No.26

<質問>

回答

加古川より西へ約300mのボックス(幅6.0m・高さ3.7m)

歩行者・自転車の利用は少ないですが、自動車の利用が多いことから、現状のまま利用していただこうと考えています。

No.27

<質問>

・廃止した方がよい。

回答

加古川より西へ約400mのボックス(幅2.5m・高さ2.0m)

自動車・歩行者・自転車の利用がきわめて少なく、迂回するボックスや交差点が近くにあることから、歩行者・自転車の安全を考えて、廃止したいと考えています。

No.31

<質問>

回答

西井ノ口交差点より東へ約450mのボックス(幅4.0m・高さ4.1m)

通学路として使用されており、歩行者・自転車の安全を確保するため、既存のボックスの横に人道ボックスを新設し、取付部分は一部拡幅して見通しを確保する対策を考えています。また、取付の市道についても水路敷を活用する等用地的

No.32 ~ No.38

<質問>

回答

高砂北ランプから加古川西ランプ間のボックス

自動車・歩行者・自転車の利用がきわめて少なく、迂回するボックスや交差点が近くにあるため、No.34(幅4.0m・高さ2.2m) No.37(幅2.5m・高さ2.7m)のボックスを廃止したいと考えています。



様からの意見、感想を
お待ちしております。

今後の加古川バイパスリニューアル計画の策定の参考にさせていただきますので、ご意見やご感想を右記へお寄せください。送付方法は、郵送の他、ファクシミリ、インターネットでも結構です。ご協力よろしくお願いします。

加古川市 建設部 道路建設課

〒675-8501 加古川市加古川町北在家23-1 TEL.0794-24-1151 FAX.0794-24-1374

E-mail/dob-kensetsu@city.kakogawa.hyogo.jp

建設省 姫路工事事務所 調査第一課

〒670-0947 姫路市北条1丁目250 TEL.0792-82-8211 FAX.0792-22-5843

発行：加古川バイパスリニューアル検討協議会

H11.11

資源保護のため、再生紙を使用しています。